

第 22 期登山学校第 4 回講座【地図読み】活動報告

2 班谷内哲二記

高水山～岩たけ岳山～惣岳山

平成 29 年 9 月 3 日晴れ

9:15 軍畑駅集合 売店有

9:33 体操後に出発 コンパス確認 車道

9:50①平溝橋分岐着 小休憩 5 分 歩行途中に地形を確認する

10:12②元徳寺着 トイレ有 熊注意?の看板有

10:25 登山道入口通過 売店有

10:42③沢からの登り通過

11:01④尾根に着 小休憩 5 分 ③～④は道はあるが泥濘、階段の段差が大きく歩き難い

11:30 分岐点通過(山頂まで 0.6km)

11:41 お寺通過(山頂手前)トイレ有

11:45 東屋着(高水山山頂手前) 昼食休憩(25 分) 眺望よし

12:10 東屋出発

12:14⑤高水山山頂着(広場) イス有 眺望よし(周囲の街や新宿ビル)地図を整置し周囲の山と現在地の見つけ方を確認

12:26⑥高水山から二つ目のコル通過

12:40⑦巻道との分岐通過(右折)

12:52⑧岩茸石山山頂着(広場) 眺望よし ～巻道から逸れて道外を登る～

13:35⑨馬仏山着 【注意】コンパスを確認して進むが現在地の特定が難しく歩道に戻ることに難しかった

14:04 惣岳山山頂着(中休憩) 社殿有 全員で記念写真

14:54⑩ヘアピンカーブ通過

15:11⑪沢井駅方面の分岐通過 【注意】⑩～⑪は岩が多く滑り安いので注意?

15:42 沢井駅着 トイレ、自販機有周囲に売店はない

16:10 整理体操、講評後に解散

【自己の感想】普段の登行は、歩行道を歩いているので現在地の確認をすることは無いが、地図等を上手に使うことで安全に登山出来ることを学んだ。また。周囲の山々が分かることにより楽しみが増えることを再確認した。

第22期 第4回講座【地図読み方】活動報告

1班記録 谷内 麻季

【机上】9月2日(土) 北浦和カルタスホール 講師；八木原 健一さん

講義内容；地形図の基礎知識・地形図とはどんなものか・コンパスの使い方・地北線の引き方・地形図を使って概念図、断面図の作り方など

遭難の事例を基に地図読みとしっかりとした計画の重要性。

自分で地図を読む能力を身につけ、実際の地形との対比。

地図アプリの紹介。

【実技】9月3日(日)晴 奥多摩 高水三山

実技内容；地形図を読み、コンパスを使って現在地や進路の確認。

スタンプラリー方式にて軍畑駅からゴールの沢井駅を目指す。

	到着～出発時刻	標高	特徴など
スタート (軍畑駅)	9:30	250m	小さい駅、トイレ・スイカ・自販機・売店あり
① 平溝橋分岐	9:50～9:52	250m	鉄塔が見える、314のピークを確認
② 源寺登山道入り口	10:12～10:15	300m	ここから山に入る 寺、トイレあり
③ 沢からの登り	10:45～10:48	450m	
④ 尾根に乗る	11:00～11:10	560m	地図上の場所と
⑤ 高水山山頂	12:00～12:25	759m	お昼休憩
⑥ 高水山から2個目のコル	12:40～12:42	730m	
⑦ 巻道との分岐	12:53～12:54	740m	
⑧ 岩茸石山山頂	13:03～13:15	793m	地図と実際の山の確認方法講義
⑨ 馬仏山723ピーク	13:46～13:48	723m	踏み跡が有やや急斜面 白いキノコ
⑩ 惣岳山山頂	14:12～14:35	756m	写真撮影
⑪ ヘアピンカーブ	14:56～14:57	550m	
⑫ 沢井駅方面への分岐	14:15～15:17	380m	
⑬ 沢井駅	15:53	240m	トイレ・自販機あり、売店なし

【感想など】

地図読みは1からお勉強でした。安全な山行の為の重要性と基礎が理解できました。

実技の日は天候に恵まれて、皆様のおかげで楽しく安全に歩くことができました。

一班の皆様、実行委員の皆様お世話になりました。来月もよろしくお願ひします。

第22基登山学校 第4回「地図の読み方講座」

第3班 澁木 ゆかり

【一日目】机上講座 2017年9月2日(土) 北浦和カルタスホール

講師 八木原 健一 氏

(講座)

- 1、 道迷いの原因と遭難事例2例の説明
- 2、 地図読みの基礎 ・地図の種類 ・等高線 ・磁北線 ・プレートコンパスの使い方
- 3、 概念図 断面図 GPS
- 4、 地図アプリ

(感想)

前回「山での救急法」の講座で聞いた、町田救助隊長の話を読み出し、遭難事故に遭わないようにするため、また登山をさらに楽しくするために地図読みが大事かを学んだ。コンパスの使い方を復習し、明日の実技に活用していきたい。山行には必ず地図を持参していたが、地形から山の形を思い描くというよりは、ポイントからポイントまでの特徴やコースタイムを確認するために使用していた。これからは事前学習をより深めるために地図を役立てていきたい。

【二日目】実技山行 2017年9月3日(日) 奥多摩 高水三山

(コースタイム)

青梅線軍畑駅(9時30分)～高水山山頂(11時49分) 昼食31分(12時20分)～岩茸石山山頂(12時55分)～馬仏山ピーク(13時37分)～惣岳山山頂(14時5分)～沢井駅(15時49分)

(感想)

前日に学習したコンパスを振り出発。ポイントごとに周辺の様子や高度計を使って標高の確認を行った。高度計とピークの標高が一致しないこともあった。誤差についてまた調べてみたいと思う。

コンパスで次の目的地までの方向を出す際に、ポイントを逆にとってしまい、皆と180度違う方向を向いてしまった。気をつけないととんでもない道迷いになる。

昨日は概念図の作成のところがよく理解できなかったが、実際に歩いて地図と照らし合わせると尾根と谷、コルなどがよく解り「地図は肉眼では見えないものや形のないものまで表現できる。」が実感できた。

最後に、実技のために事前にポイント設置をしていただいた皆さんに感謝いたします。ありがとうございました。

第4回 【地図の読み方】 実技講習報告

4班 福田陽子

日時 : 2017年9月3日(日) 晴れ☀ 場所 : 奥多摩 高水三山

◇◆◇ 当日の記録 ◇◆◇

- 09:15 JR青梅線 軍畑駅前 集合
- 09:17~ Y木原先生より昨日の補足および追加説明【コル、整置(正置)について】
- 09:23~ 準備体操
- 09:34 軍畑駅 スタート
- 11:57~12:20 常福院境内?の隅(東屋周辺)にてランチタイム
- 12:26 高水山(着)
- 13:08 岩茸石山(着) ※山座同定講座
- 14:28 惣岳山(着)
- 15:50 沢井駅(ゴール) 整理体操、本日の総評、班ごとの



反省のち解散

前日机上講習で、「地図の基礎知識」、「地形図とはどんなものか」ということを学び、「コンパスの使い方」、「磁北線の引き方」、「地形図を使って概念図、断面図の作り方」等について説明を受けた。実際にコンパスを使って目的地の方向確認をしたり、地形図に磁北線を引いたり、実技講習を行う『高水三山』の概念図、断面図も作成した。平面だった地図から『高水三山』が立体的なものになり全体像が見えてくる。結構細かい作業で、目は疲れるがなかなか楽しい。

実技当日。軍畑駅へ向かう青梅線の車内は、ハイキングスタイルの老若男女で賑わっていた。軍畑より先の『御岳駅』あるいは終点の『奥多摩駅』へ向かうのだろうと思っていたが、以外にも軍畑駅で下車する人が多く驚いた。無人駅であるはずの軍畑駅改札に駅員さんがいたのも驚きである。

今日は、地形図に印された①~③プラス⑧、⑨の地点を見つけながら、コンパスを使って現在地や進路の確認を行う実技講習である。オリエンテーリングのようでワクワクする。

全員が揃ったところで、本日の説明、準備体操。班ごとに集合し、9:34 軍畑駅を出発。最初のチェックポイントまでは、結構車の往来がある広い舗装道路。1班から4班まで列をなして歩いているため①平溝橋分岐は簡単に発見できた。昨日配布された『行動記録表』に、時間、標高、地点の特徴を各自記入し、次のポイント(進行方向)に向かってコンパスを振り、どんな道であるか地形図から読み取っていく。最終ポイントまで繰り返しこの作業を行う。

標高は、前日に地形図から読み取ったデータを持っているのだが、当日自分の高度計でも確認をする。多いところでは20m差があった。実際に迷ってしまったら自分の時計(高度計)はあてにできないな…(-_-;)と思った。

1つ目のポイントを出発する際、運営委員のI野さんより、「先頭歩きを交替でやってみ

ましよう」という提案があり、④→⑤の区間がわたしに回ってきた。皆さん「そつなく」こなしていたが、わたしは苦手だ。歩くペースしかり、二股に分かれた道のどちらを選ぶか(数メートル先では一緒になるのですが)、とても緊張する。高水山山頂手前、『常福院』へ上がって行く道を間違え、「そっちはダメだよ」と注意される。よく見ると進入を遮るように木が横に置いてある。簡単にまたげる状態なので気にも留めなかった。

登山道には、知らなければ見過ごしてしまう大切なサインがあることに驚いたと同時に、先頭で道を間違えなければ知らないまま...今、知ることができて良かったと学習登山のありがたさを切に感じた。11:51 常福院に到着。トイレを済ませ、11:57~12:20 境内(?)の隅にある東屋にてランチタイム。12:26、チェックポイント⑤高水山山頂に到着。12:30 出発。次は、チェックポイント⑥の高水山から2個目のコル。とても分かりにくい。地形図では、なだらかな稜線のように見えるが、実際は等高線が引かれない10m未満のアップダウンがある。地形図と実際の違いに戸惑った。

13:08 岩茸石山山頂に到着。山頂らしい眺望が目の前に広がる。Y木原先生より『山座同定』のやり方を教えていただく。『正置』がキモであるが、やり方は理解できた。今度お山へ行く時は実践してみよう(^_^)♪ 13:58 チェックポイント⑨馬仏山 723mピークをやっと発見。見つけるのに手こずった。地形図は難しい!

14:28 チェックポイント⑩惣岳山山頂に到着。集合写真の撮影と小休止。14:40 出発。ゴールへ向ってもうひと頑張りだ。光の差し込まない登山道は薄暗く、粘土質の滑りやすい道が続き頭も体も緊張する。

15:35 下山口に到着。舗装された道路に足元の緊張感が緩んでいく。舗装道路がこんなにありがたいと感じたのは初めてではないだろうか。見晴らしの良い通りにでる。結構な傾斜がある。眼下には沢井の集落と多摩川、対岸には低山の山並みが続いている。穏やかな空気感に包まれながら駅に向かう。

15:50、4班全員無事沢井駅へ到着。

今回の山行では、現在地確認にあたりGPSアプリに頼らなかった。結果、地形図から即座に現在地を特定することができなかった。前日概念図を作成したにもかかわらず、尾根、谷の地形に意識がまわらなかった。日頃、『登山道』という『道』だけ、目標となる『場所』や『(建造)物』しか見ていないことがよくわかった。

まさに、【木をみて森を(というか)山を見ず】状態だ。今回こういったことに気が付けたことは大収穫である。

岩茸石山山頂では赤とんぼが飛び、登山道には萩やホトトギスの花が咲き、ヒグラシが美しい声で鳴いているのが聞こえ、盛夏から秋への移ろいに郷愁を感じた。

新たに学んだこと、気づき... 今回も自分にとって沢山の課題を与えてもらった実技講習であった。

◆4班の皆様お疲れ様でした。

今回は、前日に配布された「行動記録表」に時刻や地点の特徴など各自記録をしましたので、個人感想多目の記録で提出させていただきました。悪しからず m(_ _)m

☆ Y木原先生、4班を担当して下さった運営委員の山G先生、I野先生ありがとうございました ☆